

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 29 日

評価対象事業		評価者	観光課長 鷲尾 礼弁	
市民-13	観光案内所運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	観光基盤の整備・充実

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	観光案内所運営事業	鎌倉駅東口の観光案内所の運営	観光案内所利用件数(件)	42,395 / 200,000	200,000	200,000	
				22,676 / 23,715	23,152	23,152	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	1,039 / 990	1,089	1,089	
			一般財源	21,637 / 22,725	22,063	22,063	
			事業費の合計(千円)	22,676 / 23,715	23,152	23,152	
			人件費(千円)	1,517	1,537	1,537	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.2	0.2	0.2			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	観光案内所運営事業	新型コロナウイルス感染症の影響による、不要不急の外出制限などにより、観光客数自体が減少したことから。	観光客へ観光情報を提供することにより、満足度の向上が図られる。	新型コロナウイルス感染症など感染症対策を講じた上での観光案内所の運営方法
02				
03				
04				
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、観光案内の手法や情報提供内容などを検討し、更なる安全性と利便性を高めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0						
	達成率	91.5%						

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
観光案内所利用件数(件)	目標値	200,000	200,000					
	実績値	35,266	42,395					
	達成率	17.6%	21.2%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(令和2年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	7,380	11,558	4,752	464	4,018	19,324	14,330	12,570

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---